

結びに

70周年記念事業を 剣道文化伝承の一助に



越谷市剣道連盟創立70周年
記念行事実行委員会
副委員長 高瀬 英治

記念事業に関しては、70周年の1年前となる令和6年度の連盟総会において実行委員会を設置。多彩な人材の知識の集約による効果を期待し、できるだけ多くの会員の手によって、その準備にあたることとなりました。実行委員長には50周年で記念誌作製に当たった小川副会長、副委員長には同じく高瀬が選任されました。

実行委員会は、・記念誌部会・大会部会・祝賀会部会・記念品部会の4部会に分け、部会ごとに企画立案から運営までを担当し、実行委員長、副委員長が統括する組織とし、各部の委員は実行委員長と副委員長で検討し推薦させていただきました。運営費に関しては、周年事業予算として過去数年間にわたって準備してきた資金を充てることが承認されました。

周年事業の目的は、その節目の年にそれまでの活動実績を踏まえ、記録と記憶に残すことに集約されるといえるでしょう。記念誌はその時代を生きてきた人にとっては、思い出の一つに過ぎないかもしれませんが、後世の人々にとっては非常に貴重な資料となるものなのです。大会も周年記念大会とし、記念品などを配布することで、参加する特に小中学生、高校生には強く記憶に残ることが期待されます。それらは直接的ではないにしろ、必ずや剣道人の使命である剣道文化伝承の一助となるはずです。社会体育団体の周年行事は、利益を目的とする企業のそれとは違い、運営の当事者以外には、とかく軽視される傾向も感じられますが、実に意義あるものなのです。都会では、隣人の顔もよくわからないという時代になったと言われて久しくなりました。当剣道連盟も市内で活動する多くの団体（道場、剣友会など）が加盟していますが、数年間のコロナ禍の影響によって、連盟主催稽古会の機会が減っていたこともあり、会話を交わしたことのない会員同士が増えてきているのではないのでしょうか。70周年行事運営に携わることが、他団体に属する会員との友好を深める機会ともなれば幸いです。

2024 年 4 月 27 日より越谷市剣道連盟 70 周年記念行事の 70 周年記念誌部会が活動を開始しました。記念誌では剣道連盟の 70 周年を祝し、剣道の歴史、文化、そして未来への展望を紹介することで、①剣道に興味を持ってもらう ②越谷市剣道連盟について知ってもらう ③剣道を始めたいときに情報が得られるということをコンセプトに、最近急速に進化している AI（ChatGPT）なども活用しながら検討を行いました。



また、「特別記念企画」として剣道を修業している者の夢である「剣道八段」への道へ少しでも近づけるヒントとなるようなアドバイスを著名な先生からいただくこととしました。この記念誌を読んでもいただくことで、明日からの修行の質を高め、より多くの方の夢の実現に寄与できればと願っています。

寄稿は 2024 年にいただき記念誌に編集させていただきました。寄稿いただきました皆さん、ありがとうございました。

記念誌部会一同

【参考文献】

60 年記念誌 越谷市体育協会

創立 50 周年記念誌 越谷市剣道連盟

越谷市剣道連盟ホームページ

躍進の 70 年

剣道連盟の歴史と未来

越谷市剣道連盟 創立70周年記念誌



発行日 令和7年(2025年)7月6日



編集/発行 越谷市剣道連盟